

同窓会報

発行：2012年6月15日
横浜市立南高等学校
・附属中学校同窓会
事務局：電話 045-822-1910
FAX 045-826-0818

新しい同窓会を目指して

同窓会 会長 石川 直弘 (9期)

6年前に、任意団体として同窓会が全員加入でなくなってから、卒業生の加入率が30%程度を推移するようになっていました。これでは我々が南高の同窓会としては恥ずかしい限りです。原因は、諸般の事情により同窓生への恒常的な活動が卒業2ヶ月後の同期会だけであったこと、会計内容を含めた会の運営がともすればオープンでなかったこと等々が考えられました。



そこで23年度は(1)同窓生のための事業を立ち上げる。(2)会計の明朗化を図り、運営をオープンにする。(3)卒業時の終身会費納入の負担を軽減するために、高校入学時からの積み立てを実現する。この3本柱を掲げて改革を進めて参りました。詳しくはこの会報やH.P.をご覧いただきたいと思いますが、来年から2年ごとに総会を開き、同時に会報を全会員に配布します。また、会計監査を同窓の税理士(10期 北見昭八氏)に依頼し、専門の立場から指導を受けることにしました。会費の積み立てはまだ実現していませんが、なるべく早くスタートできるようにしたいと考えています。

新しい同窓会作りはまだまだ途についたばかりであるにもかかわらず、卒業生、保護者、教職員の皆様方がこれらの改革の方向をご理解していただき、今年卒業した56期生の加入率が65%を超えることができました。私としては、95%以上の加入を目標としております。今後も理事会が丸となって努力して参りますので、皆様方のご理解とさらなるご協力をお願い申し上げます。

尚、同期会の情報や部活OB会、同窓生の活躍、理事会の動きなどの紹介をリニューアルした南高同窓会ホームページに掲載しています。是非ご覧いただくと共に、同窓生の活躍や同期会の開催に関する情報提供並びに住所変更等を kaityo@nanko-ob.com へお願いします。

校長あいさつ

南高等学校 校長 菱刈 範之 (19期)

今年は冬の寒さが厳しく、春の訪れもゆっくりでした。だからでしょうか、木々の若葉が一斉に出そろい、今は中庭や駐車場のクスノキの新緑がきらきらと輝いています。このクスノキの多くは、昭和の時代の先輩方の卒業記念樹として、当時の体育館とグラウンドの境界に植えられ大木に育ったものです。この卒業生の思いが凝縮した記念樹は本校改築の際には別の場所に保護し、新校舎完成と共に中庭や駐車場に再植樹されて今に至っています。まさに南高の伝統を見守ってきたシンボルツリーでもあります。今年の開校記念講話では、古い葉が落葉する前に新たな若葉を茂らせることで、常に緑であるこのクスノキを引き合いにして、伝統を繋ぐこと、後輩を育てることの大切さについて話をしました。



さて、4月1日、本校は、横浜市長をはじめ多くの来賓の皆様のご臨席を賜り、附属中学校の開校記念式典を行いました。これからは伝統ある58年の南高の歴史と平行して、新たに中高一貫校としての歴史を刻み始めます。この節目となる年に、南高文化にどっぷりと浸かった私が、校長として関わることになったことに責任の重さを強く感じています。今年附属中学校に入学して6年後に卒業する予定の生徒は南高62期生となりますが、既に同窓会も今後は南高等学校・附属中学校同窓会として活動されることになること聞いております。これまでの南高校に対する物心両面にわたるご支援に感謝すると共に、中高一貫校としての本校の発展を支えていただける同窓会に改めて敬意を表します。

中高一貫教育始まる

取材 田村 勇人 (43期)

4月1日南高校附属中学校が開校式を迎え、南高が中高一貫校として新たなスタートをきりました。

そこで以前中高一貫教育校開設準備室室長としてインタビューをさせていただき、そして現在は南高の校長先生として赴任されました菱刈先生に再び“その後”のお話を伺ってまいりました。

まずは驚きの受験者数です。これは公式のホームページでも出ていることですが、何と約1700名！！横浜市初の中高一貫校ということでとても注目されていたことを物語っています。定員は160名ですので倍率は10.6倍。まさに「狭き門」です。まだ中高一貫校としての実績はないものの全国でもトップクラスの評価を受けており、生徒さん・親御さんからの期待が非常に高いそうです。

準備室にいらっしゃった高橋先生が中学校の校長先生として就任され、12名の優秀な先生方も着任し、附属中学校が新体制で船出しました。

さて今後の課題としましては中学校の受け皿となる高校の更なる充実ということです。具体的には①授業数の増加、②単位制をやめ学年制へ移行。②について補足しますと単位制は選択科目を設け生徒個々の得意分野を伸ばすというシステムでしたが、これを学年制に変更し偏りのない総合学習能力の向上に重点をおくものです。

いよいよ始まった南高校の中高一貫教育。中学は高校に、高校は中学に負けぬよう切磋琢磨し、新たな南高校の歴史を作りあげていただきたいと思います。



附属中学校開校のお礼

南高等学校附属中学校 校長 高橋 正尚

平成23年4月1日に「中高一貫教育校開設準備室」を充足して以来、中高合同の組織作り、規約の改正、開校記念式典の記念品として紅白まんじゅうを寄贈等様々な角度からご支援を賜りました。また、難しい立場にあった附属中学校を快く受け入れていただいたことも合わせて、心より感謝とお礼を申し上げます。

同窓会の目的である「同窓生の親交を深め、世代を超えた交わりを実現できる場であり、横の絆と縦の連続性を生涯もつことができる場」(石川直弘会長の就任挨拶文より)の趣旨をよく理解し、連携して学校運営を推進していきます。

併設型中高一貫校として、軌道にのるまでには、授業の中高での兼務関係、教育課程、中高一貫校の組織づくり、施設など課題が山積しています。南高、同窓会、PTA、後援会と緊密に連絡を取りながら、一つ一つ解決していきたいと思っています。今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願い致します。



着任のご挨拶

南高等学校 校長代理 吉田 信幸

横浜商業高校の副校長から本校の校長代理として着任しました吉田でございます。これまで商業科教員として港高校、港商業高校に赴任した後、横浜商業高校と戸塚高校では副校長として勤務して参りました。本校で5校目になります。

全人教育を伝統とし、社会のリーダーを多く輩出してきた南高、横浜初の公立中高一貫教育校としてスタートした南高に勤務でき光栄に思うとともに責任の重さを深く受け止めております。南高の充実発展のために微力ながら取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



着任して一ヶ月あまりが経過しました。明るく元気なあいさつ、図書館や教科センターでの自主学習、合唱練習の歌声、活発な部活動など、南高生の素晴らしさに深い感動を覚えています。これも生徒と教職員の信頼関係とそれを支えていただいている保護者、後援会、同窓会の皆様のご協力による賜と厚く御礼申し上げます。

これからの社会を支える人材を育成するためには、より充実した環境整備が必要であります。また、平成25年度は本校創立60周年にあたります。同窓会の皆さまにおかれましては、南高の充実、発展のため、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

南高は市民が創った「学びの文化共同体」

前南高等学校 校長 近藤 昭一

南高が大きな変革期にあったこの3年間、同窓会の皆様から温かなご支援をいただき校長職を勤めさせていただきました。皆様のご支援に心から感謝申し上る次第です。心豊かな皆様との出会いは校長職を勤める私の支えとなり、その絆と熱意、そして果敢な行動力からは職業人として多くのことを学ばせていただきました。この3年間で私が確信したことは、南高が「学びの文化共同体」であったということです。創立58年目を迎えた南高は、これまで在籍したすべての生徒・保護者・教職員が試行錯誤しながら創り上げ、同窓会、後援会、PTA、地域関係者が熱い支援を送り続けてできあがった市民のための「学びの文化共同体」なのです。



文武両道の南高の教育は、若者の社会人基礎力の欠如が憂慮される現代社会において、人材育成の理想モデルの一つです。中高一貫教育校としてのスタートも、南高教育を惰性に停滞させることなく、さらに進化発展させる起点の一つと言えます。今後とも「学びの文化共同体」=南高の発展のために、変わらぬご支援を賜りますようお願いするとともに、同窓会活動の一層の充実をお祈りして挨拶とします。

26年ぶりの30期同期会、撮影会で盛り上がる

荒川 尚美 (30期)

30期は2011年8月27(土)、卒業以来初めての同期会を開催しました。26年ぶり、44歳での再会です。

桜木町にあるブリーズベイホテルで開催した一次会の参加者は128人、最寄りの居酒屋、叶家で行った二次会は110人です。恩師の久保井明先生、藤岡誠司先生、藤岡礼子先生、小林真澄先生、同窓会の石川直弘会長と菊地晶江副会長にご出席いただき、来られなかった先生方からも多数のメッセージを頂戴しました。

1次会の会場は、懐かしい80年代のヒット曲を流しながら、現在の南高校の様子や卒業アルバムの写真をスライド上映しました。参加者はそれを見聞きする暇なく、再会で盛り上がりっ放しで、会話している相手の声も聞き取れないほどでした。

会場の混雑で、誰が来ているかがわかりにくかったのですが、カメラマンによるクラスごとの集合写真撮影を会場内で始めると、参加者が一覽できるようになりました。それが面白く、クラスごとの後は部活動ごとと様々なグループが名乗りを上げ、撮影会に興じました。当日の写真はインターネットサーバーにアップし、パスワードを入れてダウンロードできるようにしています。

一次会の最後に、南高校の校歌を流しました。喧噪の中、かろうじて聞こえてくる音楽に合わせ、何人かが校歌を口ずさんでいました。

興奮状態のまま二次会会場に移動。クラスごとの三次会、四次会と深夜まで続いたようです。2013年に、30期の第二回同期会を開催する予定です。



二次会で幹事団が並び、挨拶している様子

「古稀の会」開催

安西 八重子 (4期)

南高4期生の「古稀の会」を2012年4月15日に、横浜ガーデンホテルで行いました。素晴らしい天気恵まれ、出席者は予想を遥かに上回る100人超、「還暦の集い」の出席者数を上回りました。

北海道から、九州から、大勢の方々が集まってくれました。担任でいらした、重田保志先生、田中勝彦先生、笠原通先生にもご出席賜りました。

クラスのメンバー紹介で判明する、面影を残した顔、顔。みんな欲も得もない、ただただ、再会を喜び、16、17才の時の顔になっていました。何時会っても、何年ぶりで会っても素でいられる仲間達、楽しいひとときでした。

次は、「喜寿の会」、同じように集まりたいと、開会時からのみんなの希望、約束です。みんな欠けずに7年後にあいたいものです。

同窓会からも、お祝い金を戴きありがとうございました。南高校の益々のご発展を祈念いたします。



「南高校音楽部卒業生による演奏会 2011」に寄せて

実行委員長 香田 淳一 (42期)

2011年9月11日、県立音楽堂にて音楽部卒業生による演奏会が執り行われました。

音楽部は、故高橋勝司先生により創設され、吹奏楽部、弦楽部、合唱部、マンドリン・ギター部の4部の総称です。「音を楽しむ」という本来の音楽のコンセプトに基づき、幅広い活動をしてきました。先輩・後輩がこの部を通じてつながり、卒業した後もその人脈は長く受け継がれてきました。

今回の演奏会は、長年の音楽部で開催してきた定期演奏会の形に倣い、合唱、弦楽、吹奏楽、オーケストラの4部構成としました。賛助ご出演頂いたPTAコーラスの皆様による校歌斉唱により、華々しく開幕。続いてSIMPLE SYMPHONY、アルメニアンダンス・パートIなど、音楽部在籍メンバーには懐かしい曲を多数演奏しました。オーケストラステージの最後では、合唱も加わり120名近くがステージに乗り、ハレルヤコーラスを演奏。上は3期から、当時卒業したての55期までと、幅広い世代が集い演奏する、南高生だからできる圧巻な光景でした。ひとりひとりの声掛けからはじまり、演奏出演者143名、スタッフ27名、計170名が関わりました。この演奏会で再びつながった先輩・後輩のつながりは、これからもきっと長く続いていくと信じています。

最後となりますが、今回の演奏会開催にあたり、菱刈校長をはじめ南高校職員の方々、元顧問・岩田教諭（現・横浜総合高校教諭）、床井教諭（現・横浜サイエンス・フロンティア高校教諭）、南高校PTAコーラスの皆様には多大なるご支援を賜りました。この場をお借りして御礼申し上げます。



第一回展から16年 南高同窓生の交流の場として

美術部 OB会 南期会展

第一回南期会展は平成8年に大船の画廊でうぶ声を。当時の美術部OB会の集いと言え、飲んでカラオケが中心。酔った勢いで「展覧会をやるよ」の声に、浅見先生の「作品を持ち寄って」との一声がメンバーの背中を押ししました。

第4回展までは大船で、平成15年の5回展から現在の吉野町プラザに会場を移し、以降、毎年秋に開催。

当初のメンバーは9名で、現在では18名と倍になり、もちろん全員が南高卒業生（3期から15期）で、美術部以外の方も参加されています。会期中は南高同窓生のみなさんから大きな励みやパワーをいただくと同時に、各期毎の様々な集いや各世代間との新たな出会いなど交流の場になっています。

南期会の一番若いメンバーは15期生ですから全員が60歳以上です。毎年の展覧会を目標にそれぞれが作品づくりを行っています。また月2回の研究会やスケッチ会、合評会など会員相互の交流も深めています。

いつまで続けられるかは大きな課題で、現在は15回展までは決めています、体力、気力が続く限り頑張りたいと考えています。

みなさま方のご支援と同時に南期会展への出品、参加をお待ちしています。

第14回南期会展は2012年11月6日から12日まで吉野町プラザにて開催いたします。

(連絡先 6期 中里寿昭 090 - 2541 - 6673)



南高校野球部OB会 再び甲子園を目指す

奈良輪 稔 (18期)

南高野球部OB会は、昨年度よりOB会の野球チームを結成し「マスターズ甲子園」という全国大会の神奈川県予選に出場しています。「マスターズ甲子園」は、全国の野球部OB会チームが県予選を行い、優勝校は甲子園で他県の代表チームと試合を行うものです。神奈川県大会は横浜高校、東海大相模をはじめ有力高校が参加しておりますが、南高校の伝統を盾に臆することなく戦っております。

去年は、大清水高校に勝利、日大藤沢に破れ予選リーグ2位。決勝トーナメントの出場をかけた神奈川県大会と戦いましたが惜しくも敗戦、甲子園出場の夢はかないませんでした。今年も3月より県予選が始まります。今年

は、武相、横浜商大と同じリーグで戦うことになっています。試合の形式は1試合を35才以上のメンバーで半分。残りを34才以下で戦う方式となっております。この試合には、25期の女子マネージャーも参加。スコアブック片手にがんばっております。そんな光景を見ていると、本当に南高の卒業生で良かったと思います。

南高野球部は、過去の県大会において、有力私立高校と互角以上の戦いをしていた経験もあり、あと一歩で甲子園を逃がしてきました。我々野球部OB一同再び甲子園を目指す意気込みは旺盛で、ぜひ甲子園で校歌を歌いたいと考えております。野球部OB会は勿論現役野球部の応援をすることに主眼をしておりますので、OB会野球部の活躍が、少しでも現役選手の刺激になればと思っております。また野球部のOBが南高校に教師として戻り、監督と部長をしています。同じOBとしてグラウンドの使用などの協力を頂いていることに感謝しております。

今年も南高卒業生の誇りをもって試合に望みたいと思います。そして再び甲子園を目指す南高野球部OB会を応援頂きたいと思っております。

野球部OB会ホームページ http://sports.geocities.jp/nanko_bbc_ob/indexhtml



柔道から俳優 そして今…

取材 比留川 秀一 (23期)

今回は、19期の阿部治幸（旧姓野崎）芸名野崎海太郎^{かいだろ}さんをご紹介します。

野崎さんは中学、高校、大学と柔道で異才を放ち、なかでも南高在籍時代に後の金メダリスト山下康裕とともに国体で神奈川を団体優勝に導きました。

東北福祉大卒業時に、子供のころからの映画の世界への夢を追い求めて旅に出る。そこで知り合った友人の紹介で仲代達也主宰の無名塾の試験を受けて5期生として入塾して演劇の世界に飛び込みました。塾では益岡徹や小宮久美子など同じ夢と目標を持った若い仲間達と毎日稽古に励み、語り合い、酒を酌み交わし貴重な時を過ごしました。

同じ時期に、当時新人の渡辺謙の出世作で唐十郎作・蜷川幸雄演出『下谷万年町物語』のオーディションにも合格して舞台デビューする。以降舞台以外でも、黒澤映画『乱』、角川映画『天と地と』、テレビドラマ『天までとどけ』、『水戸黄門』その他多数出演しています。

現在は10年程前から夫人の実家がある南淡路市の豊かな自然の中で子育てと農業に奮闘しながら役者生活を続けています。

野崎さんは「自分は大して活躍などしていませんが、いつも超一流の人達との出会い、巡り合わせがあって運よく今の自分があります。テレビ等で見掛けたときは応援してください」と照れながらおっしゃっています。



無名塾公演「リチャード三世」で仲代達也さんとのツーショット

2年半ぶりの再会は…

担当理事 粕谷 正伸 (26期)

例年、5月の第3日曜日が卒業直後の同期会。他に同窓生へのイベントを催すことがないか？と同窓会理事が色々と思いついた中の一つが、“お酒が飲める初めての同期会”＝「二十歳の同期会」でした。

11月26日、長者町にある“パセラリゾーツ横浜関内店”で、初めて「53期二十歳の同期会」を行いました。約2年半ぶりの再会。初めての試みと昼過ぎからの開催のため、30名弱と少人数になってしまいましたが、担任の先生や同窓会理事も含め、プロジェクターで大きく映し出された「風の章」で一瞬にして高校生の気分に戻り、わいわいがやがやとあちこちで楽しい会話が聞かれました。

後半からは会場から提供された可愛らしいケーキをほおぼり、ビンゴ大会などアルコールも入って、大いに盛り上がった2時間半はあっという間に過ぎてしまいました。散会後も夕刻以降は都合がつく仲間も加わり、夜遅くまで盛り上がったようです。

9月半ばから、各クラスからの幹事が集まって開催に向けて連絡を取り合い、案内状を出すなど準備に追われていましたが、幹事も、参加者もあらためて「絆」を感じたひとときであったと思います。



53期幹事のコメント

大澤 証理くん

今日はとても楽しい会をありがとうございました。おかげさまで旧友や楽しいOBの方々とお会いしました。これからも南高校のつながりを大事にしていきたいと思います。

青木 佳奈絵さん

このような機会を作っていただき本当にありがとうございました。おかげで今後は同期でもっと集まりやすくなると思います。

平成23年度清掃活動顛末記

副会長 山形 和弥 (18期)

今年の三月の理事会で石川会長から今年度活動の清掃活動は、どうなっているのですかと鋭い指摘を受け事業担当山形としては、もう年度末だし、世間は放射能の汚染問題もあるし…ここは、仕切り直しということで無難に切り抜けようとしたところ、更に石川会長から「年度内に行うと決めた事業は行うべきです」と追い討ちをかけられ、即座に方向転換、理事有志にて3月25日日曜日15:00 南高から久保坂を下りて上大岡までの通学路清掃と相成りました。当日、理事有志老若男女約10名、長いゴミバサミ、軍手、ゴミ袋に南高同窓会紫紺の幟を立て、南高から左右二組に分かれて開始。コンビニ周りやバス停付近のビニール袋、空き缶や、タバコの吸殻などをこまめに回収し、全員、4月からの新入学の中学生・高校生、在校生が、気持ちよく登校できるようにとの思いで励みました。途中南高生、付近の方々から「ご苦労様」との声もかけられ無事上大岡まで、気持ちよく清掃いたしました。清掃活動は24年度も同窓会事業として行います。同窓生の皆さんご協力宜しくお願いいたします。



5月20日 56期同期会

理事 田村 勇人(43期)

好天に恵まれた5月20日、同窓会主催で今年卒業の56期生同期会が南高校学生食堂で執り行われました。

今回の56期は近年稀にみる168名という参加者の多さ!!お世話になった先生方もたくさんご出席いただき本当にありがとうございました。学食内は活気に満ち溢れ、理事一同も奮起させていただきました。

同窓会長と現校長の菱刈先生のご挨拶にはじまり、その後は大いに歓談。約2ヶ月ぶりの再会ですが、卒業生達には話したいことが山ほどあるようで談話のどよめきが絶えることはありませんでした。学生時代は毎日会っていた仲間に“久しぶりに会う”というのは懐かしくもあり照れくさくもあるようでした。

それからお待ちかねのビンゴ大会です。今回の景品はスターバックスのプリペイドカード。今年の卒業生は実用性を重視?したようで、これには理事達も「なるほど、そう来たか」と驚かされました。最近の学生にとっては理想(ディズニーランドチケット)よりも現実(プリペイドカード)の方が喜ばれるのかもしれませんが。時代の移り変わりを感じました。

終わりに先生方から励ましの一言をいただきまして、今回の会はおひらきとなりました。2年後の「二十歳の同期会」で今回集まった160人とまた顔を合わせるのが楽しみです。



会計報告

平成23年度収支計算書要旨
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)
横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会
(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
1 会費収入等	[2,500,000]	[2,411,432]	[88,568]
当期収入合計(A)	2,500,000	2,411,432	88,568
前期繰越収支差額	8,433,000	8,433,534	-534
収入合計(B)	10,933,000	10,844,966	88,034
II 支出の部			
1 事業費	[537,000]	[897,976]	[-360,976]
2 管理費	[324,000]	[336,586]	[-12,586]
3 予備費	[100,000]	[0]	[100,000]
4 固定資産取得支出	[0]	[0]	[0]
当期支出合計(C)	961,000	1,234,562	-273,562
当期収支差額(A)-(C)	1,539,000	1,176,870	362,130
次期繰越収支差額(B)-(C)	9,972,000	9,610,404	361,596

(注記) この収支計算書は、「公益法人会計基準(平成16年改正)」によって、作成している。

正味財産増減計算書要旨
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)
(単位:円)

科目	金額		
I 増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	1,176,870		
小計		1,176,870	
増加額合計			1,176,870
II 減少の部			
減少額合計		0	0
当期正味財産増加額			1,176,870
前期繰越正味財産額			8,433,534
期末正味財産合計額			9,610,404

貸借対照表要旨
平成24年3月31日現在
横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会
(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	9,610,404		
現金流動資産合計		9,610,404	
2 固定資産			
(I) 基本財産			
基本財産合計	0		
(II) その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			9,610,404
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計			0
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			9,610,404
(うち基本財産)			(0)
(うち当期正味財産増加額)			(1,176,870)
負債及び正味財産合計			9,610,404

計算書類に対する注記事項要旨

- 重要な会計方針
 - 資金の範囲については、現金預金、未収金、未払金、仮払金、前払金、前渡金、繰入金、立替金、預り金及び未収利息を含めることとしている。
 - 会費収入の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

期別	内訳	金額	摘要
53期	同窓会入会金	45,000	
55期	同窓会入会金	446,000	
56期	同窓会入会金	1,920,000	
合計		2,411,000	

詳細はホームページで公開しています。(アドレスは巻末に掲示してあります)

学校関係

平成23年度 同窓会表彰

団体

弓道部 女子団体	全国高等学校総合体育大会弓道競技大会 出場
水泳部 女子団体	関東高等学校水泳競技大会 女子400mフリーリレー 出場
バドミントン部 女子団体	関東高等学校バドミントン大会 出場

個人

田中 真里奈 (陸上部3年)	関東高等学校陸上競技大会 砲丸投 準優勝 円盤投 6位 全国高等学校総合体育大会 砲丸投 12位 円盤投 出場
中島 万理那 (陸上部1年)	関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 800m 出場
根岸 優歩 (水泳部3年)	関東高等学校水泳競技大会 女子100mバタフライ 女子200mバタフライ 女子400mフリーリレー 出場
根岸 春陽 (水泳部2年)	関東高等学校水泳競技大会 女子200m個人メドレー 女子400mフリーリレー 出場



平成24年度教職員異動

離任者教職員 (高校)

職種・教科	氏名	移動先	職種・教科	氏名	移動先
校長	近藤 昭一	退職	理科	原 和夫	横浜総合高校
地歴・公民	酒川 章司	退職・南高校 非常勤	国語(臨)	山口 香	退職
美術	伊藤 実	退職	英語(臨)	武田 早代	退職
英語	北見 容子	みなと総合高校	理科(臨)	三浦 恵子	みなと総合高校
英語	飯塚 城永	横浜サイエンス高校	体育(臨)	速水 淳一	南高校 非常勤
数学	古田 宏	横浜サイエンス高校			

着任者教職員 (高校)

職種・教科	氏名	前勤務先	職種・教科	氏名	前勤務先
校長	菱刈 範之	南高校 (校長代理)	英語	川原 純子	桜丘高校
校長代理	吉田 信幸	横浜商業高校 (副校長)	数学	天野 成一	桜丘高校
英語	平石 寛子	みなと総合高校	英語(臨)	安井 サチ子	桜丘高校
地歴・公民	樋口 照明	金沢高校	数学(臨)	武部 史子	みなと総合高校
理科	大塚 明裕	横浜総合高校	技能職員	植原 嘉春	中川西中学校
体育	原 悦子	横浜総合高校			

着任者教職員 (中学)

職種・教科	氏名	前勤務先	職種・教科	氏名	前勤務先
校長	高橋 正尚	豊田中学校	英語	梶ヶ谷朋恵	港南台第一中学校
副校長	小藤 俊樹	西金沢中学校	保健体育	間宮 英美	東鴨居中学校
数学	吉原 史朗	松本中学校	英語	西村 秀之	富士見中学校
国語	竹下 恭子	日吉台中学校	社会	松藤 望	新任
理科	時川 裕樹	青葉台中学校	養護	山崎 涼子	戸塚中学校
国語	山内 裕介	岡村中学校	事務	浜島 弘吏	中川中学校

同窓会役員紹介

役職	期	氏名	役職	期	氏名	役職	期	氏名
会長	9	石川 直弘	理事	5	山崎 敏昭	理事	26	粕谷 正伸
会長代理	13	桐生 秀昭	理事	10	岩田 力	理事	26	山田 裕之
副会長	14	菊地 晶江	理事	13	岩本 しのぶ	理事	43	田村 勇人
副会長	18	山形 和弥	理事	13	尾崎 由朗	理事	45	只木 聡
副会長	18	高田 桂子	理事	23	比留川 秀一			

南高同窓会 Web Pageのご案内 <http://nanko-ob.com>